

バストス週報

霹靂 30

第1055号
昭和四十五年
七月二十七日
発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shion Uda
Rua Pres.
Vargas 188
C. Post 112
Fone 40.
BASTOS
C. P.
Annual
Cr #
18.00
Adian

お祭り バストス

バガンストとか、レーンブームとかいって、
体日を楽しみ、旅行を愉しむ風潮は日本近代
の経済発展に伴い益々上昇の一途、国民総浮
かれの現象を呈しているところである。

それと、これとは比較にならないが、七月十
八日、十九日に行われたバストス王子祭は、
空前の人出で、バストス人口が一ペソに三倍
にもふくれ上がった皇の賑いで、二日間の祭典
は、平年の催しとしては最高の成績だった。
フェスタ、デ・オーボというのは、バストス
二十五周年の入植祭にはじまり、五年毎に大
祭を催し、州農務局の応援を得て大々的にや
る。そのかわり、次の五年目迄の中の四年は
、あまり派手にやらない申し合せであったが
、年一回のフェスタ、けちけちするな、とば
かり、平年といえども、自費でもって、年毎
に盛況を呈して来たようである。

ところが昨年より市役所が祭典主催にのり
出し(実質的には文化協会と共営)を頼い
どうやうか、
いに自信を以て市役所に祭典委員会を設け、
木材市議に委員長を任命して、写争をかける
ことになった。

何しろ莫大に予算である、文協なりせいぜ
い一万か一万五千止りの予算で賄い、それも
植民者の寄附を財源にしたものであるが、市
役所案では三万や四万は計上できるといって
市民の懐なんか当てにしないので、市民は大
助かり...という程でもあるまいが、市長様
々というわけである。

演舞場も古びたので、現演舞場敷地を市に
寄附すれば、その代りAVデスコイト、デジュ
ンニヨの敷地にレンカ造りのミラ派演舞場を
建てることにするといふわけだったが、とう
とう今年のフェスタ迄には間に合
でなければ入植四十
充分と、ち、
近頃のフェス
たも大祭同様、ほとんど区別
なくなくなってしまった。

入植当時の働き盛りだった一世は、皆もう
すっかり老境に入ってしまった見分では、も
うぼつぼつと次代の勢力とバトンタッチの期
を迎えている。そこで市役所が祭典へ手を伸
べたことは、タイムリングとしても乗々だし
、二世が後継者として開花し始め、大きな工
ボックを作りつつある過渡期とも云うべきで
あろう。

毎度ありがとうございます。

御食事と御宿泊は是非当店で
御宴会と御会食
御家族づれの御会食に
御仕出しに、御出前に
日本料理、ブラジル料理
シネマのお帰りの
あつものには
当店どころ

Hotel e Bar Restaurante PRIMAVERA

ホテル
プリマヴェーラ

深川悠一

九二



軽快な運針と

スマートなスタイル

それはシンガミン
特有の爽快味です

どんなマルカのミンでもと云うの

シンガミンを

太郎屋ミシン部

で買う事に決めましょう。

太郎屋ミシン部は、当店お買い
上げのものには、一生保証致し
ます。

多勢の力というものは、やはり何と云って
も大したものである。今やパワー、バストス
として立派に成長している。各所に力が
分散されているようで、しかも分散した力が
この場所々々で成育をとげているのである。
農産品展は、ほつておいても青年団がまとめ
てゆく、演芸は文協幹部が総括的な組織を動
員すれば、出演者は個人団体といわず技を競
う。

生花は権「法眼」を中心に婦人団結が活躍
するといった具合である。多年に亘って培わ
れている組織の力というものは、見事な活躍
をするもので、この組織をうまく運営すれば
、市役所は潤滑油を適宜に注せば車は廻るの
である。くれぐれもいって置くが、いかに優
秀なマキナでも、油をさし忘れると軋むし、
廻転は止るであろう。

○本年は小学校を本館とし、空地に鉄筋の大
バラツカを三棟建てたので、農産品展示会に
申分のない広さであった。但し本館の方に右
側が写真展、児童絵画、学生科学展、陶芸、
水石と並び、左側に鶏卵と陳列されていたが
、ピーク時刻には、身動きのとれぬ雑踏で、
「物を見る」などの余裕はとて六ヶ敷しく
、これは何とかならぬものか、陳列の方法と
場を変えろより方策はあるまい。

生花展は、去年ひどい目にあつたので、今
年は顔としてアセイタせず、コチア階上を独
占して我が意を通した。生花展は雑踏の中
鑑賞できるものではない。空間にのびのびと
する姿体を立体の頂角に捉えて味わなければ
真に悟入の心境は得がたい。六月、花道使節
来植の時生花展を総合会館で開催したのを見
た時ほど生花の美に打たれたことはない。場
所の完璧が生花を芸術化することを吾々は教
えられたのである。

○水石も陶芸も年々水準が高くなつて行くこ
とがはつきり判かる。毎年見て、しかも飽き
させないのも、出品者の心構えといふべきで
あろうか。但し会場がやはり狭い。石と石、
茶碗と壺と互に肩を張つてゐるが、見る方も
肩を押され、懐中をうかがわれてゐる感では
、おちおち鑑賞出来ないのであるまいか。
展示場を一つ市役所の予算に組入れて建てて
もういたいものである。

○鳥獣刺製は珍らしい展示であつた。猿猴た
ちの小動物、タマンゾア、その他の野生動
物、瓢箪類、鳥類刺製およそ二百種。プ、ベ
ンセラウの刺製師の作であるという。出展
中の白眉であつた。

○祭典委はA D Bにも働きかけて祭典色彩化
の一つに、トヨタ・カネホトの二チームを相
勝することになり、十八日、十九日の午前中
に、二試合を行った。全伯野球の最高峰を行
く二チームの妙技を見せてもらつて野球の醍
醐味を陶酔しようというわけで、フアンにと
つては大へんな御馳走だつた。又市役所の招
待したバストス附近の七市の市長や従行のバ

ンダも中々盛んなもので、デスフカレは近頃
の見物であつた。

第一日農務長官、一寸姿を見せてすぐ歓迎
台から姿を消した。きくとくろによる。他
の会合をも兼ねて居られるので、バストスは
せいぜい二時間の滞在であつた。政府高官の
身辺がいかに多忙なものか、身辺かに知らさ
れた思いである。

市役所の招待したのにリンス軍団中隊の示
威行進があつた(十九日午後三時)チーロ、
デ、ゲイラもまじつてゐる青少年の軍団であ
る。濃緑色のウニホルメに軍靴、同色の軍帽
、絆ね軍装備、ハキハキした動作頗る好感を
受けた。それから市中に徒歩競争、自転車、
自動車のシンカーナ、わきかえるような市民
学生の競演で夕方まで大賑いであつた。

○敬老会はこれまで日系人ばかりが招待され
ていたが、今年から三十数名の伯人男女が招
かれた。何しろ年寄のことで、入りまじつて
坐つては会話が出来ず、かえつて座が白らけ
るだろうと、伯人席は別にしつうらえること
になつた。市長の挨拶「バストスを開拓して下
さつたのは皆さまの御尽力にまつものが多い
。この立派な御土を益々発展させて行くのが
吾々の役目であるが、毎年此の日に皆様にお
集まりを願つて、その健康をお祝ひしたい」
。このごまは葡語で結構だが、これも崎田市
議の親切な解説ではじめて、はあ、そんなや
さしいこといつてくれたのかと納得する次第
。それから老人のど自慢で日本民謡を味線
一と賑わい、一時半になると、もう老人は疲
れてぼつぼつ退散に及ぶ。

伯人は、日本部落に招かれた様な顔で帰つ
ていったが、敬老会も、いつの日か、オール
ポルツグースで催される時期も来るだろうが
、まてよ、敬老会などというものは、日系の
作つたものだから、ひよつとすると、養老院
になつてしまふかも知れぬだろう。系 音

御 礼

金一封也

故林 一男様の七日のミサの折り記念として御寄
贈下さいました。ありがとうございます。

バストス 聖母婦人会

林家御遺族様各位

授糊として岬は暗し 冬の海 糸 音
冬湧きかぶりて巨巖 蛇喰す

前田常左衛門伝

二十回

年々の収獲期には近郷ミナス州の奥地からやってくる約八百人の労働者を、臨時に雇い入れるが、これらの労働者たちは、一回来たら必ず毎年やってくる。彼は、これらの人達が、耕地に到着するとは、まるで百年の知己の訪れのように、握手を交わして喜んで迎える。

「労働者は農場の宝だ」と、口ぐせのやうに彼はいう。彼の労働者に対する理解と、ヒューマニズムは、少年時代から今日までの、自らの体験によつて、培われたものである。この精神は、全耕地に浸透している。したがつて、農場の労働者たちは、いったん仕事となると、絶体に柔順であり、誠意をもつて働く。

一面、この農場では、不正と怠惰は許されない。それは、彼がそう決めたのではなく、彼が行動によつて示した規範なのである。いわば、農場の不文律であつて、自然にさういうしつけをつくつたのであるやう。さらに特記すべきことは、この老練なる指導者とともに、あらゆる苦難の道をたどつて来た現在の総支配人、降之氏をはじめとし、各耕地の責任者は、一定の方針にしたがつて、よく協力して、完全なチームワークを作つていゝことである。

一九五七年二月十六日、この日前田家はよろこびに満ちてした。家庭にあつて二十四才の今日まで、繁忙な家事の手伝いに、あるいは野良に、母のもつともよい相談相手となつて、身を粉にして働いて来た、四女繁子さんの結婚式である。繁子さんは、母の気性をそのまま受つたやうな、心の優しい娘さんであつた。新郎は、サン、シヨアミン市のサンタ、フェ農場主の井出伊三郎氏の四男マリオ君である。近郊の日本人はもとよりブラジル人の有名人が、こぞつて結婚式に参列して、若い二人の新しい人生航路の門出を、心かう祝福したのである。

こうした家事の繁忙にもかかわらず、彼が帰伯に際して、日本の関係当局に確約させた、次期移住者の呼寄せ手続きが着々と実行に移され、第二次指名呼寄せの手続きがなされると同時に、また耕地内の整地拡張も行なわれることになった。この年、耕地内のラゴア、トロイブ、ヒナアルケールの整地が、D16型のトラクターで行われ、さらに、ミゲロポリス市南方ヒキ口の地点にある、サンタ、バルバラ耕地三百アルケールを新たに購入

し、環境水木養殖の当時モジ市をその責任者として担当させるとともに、米園製トラクターをまた一台買ひ込んだ。

このやうにして専業はいちじるしい勢で拡大の一途をたどり、主要生産物である綿の生産が、七万アルバに達するやうになつた。彼の捷まざる努力と営農は、ブラジル農界に大きな示唆を与え、貢献するところ大であつた。そして、この年の九月、時のサンパウロ州農務長官は、彼の農業界、サンパウロ州経済発展に資する功績をみるとめ、金メダルを贈つた。

三十一、鍋島知事の訪問

TRABALHO - HONESTIDADE - DEDICAÇÃO
HEFEJA PELA 30 VEZ CONSECUTIVA -

SHIRO KYONO

DEPUTADO ESTADUAL

ASSEMBLÉIA LEGISLATIVA DO ESTADO DE SÃO PAULO

Solicito Vossos Apóios e Votos

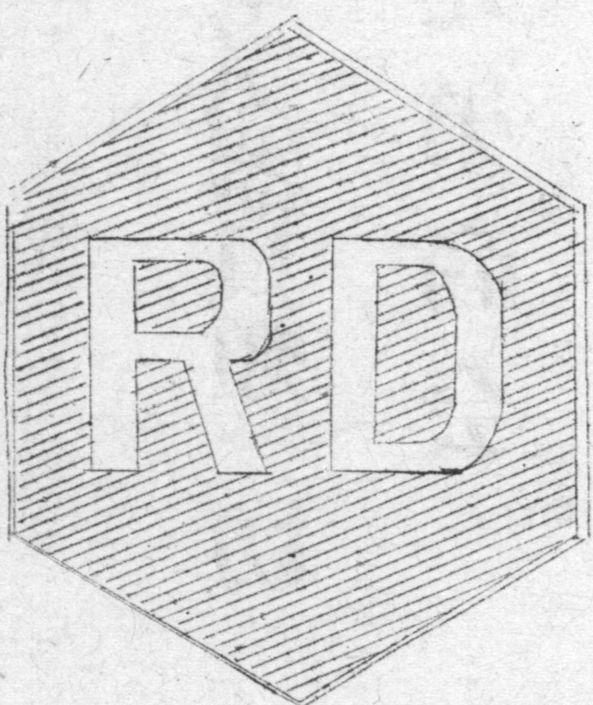
RESIDÊNCIA:

RUA GALVÃO BUENO, 584

PHONE: 278-8099

LIBERDADE

ハチナナ?



これは

何でしょう

テレビジョン・各種 ステレオ電気蓄音機各種

ラジオ・ピアノ・金庫・タイプライター
扇風機（ウィンチラドル）ラジオトランジスタ
冷蔵庫（シラ・デイル）洗濯機（マキナテラバロッパ）
その他何んもありません。

ELETRO RADIO ORIENTE

各種家庭用電気器具類一切

カルサ市 ルア エイトロヘンテアード 一―一番

本店 **八卷兄弟商会**

御注文とお問合せは バストス市ツッキ デカシマス街角

代理人 **宇佐美宗一**

電話 店 一四六番
宅 一二五番

第二次時寄の松浦、菰巻、樋渡の三家雨となり、棉作地はみるみるうちに水浸族十九名は、五八年一月十一日、佐賀県しとなつて、等高線を上段から崩し、海外協会常務理事江口清彦氏に伴われて水は音をなしてコロニアに流れ込んだ。大阪商船サントス丸で着伯し、それぞれこのためコロノたちは直ちに避難するとれ分散して入植した。また別途空路をもちう騒ぎになった。

直紹氏は、着伯と同時に、この農場を訪れ、発芽していた棉が、一夜のうちに土砂状態で視察した。知事は前田氏の誠実さ五十アルケルにも及んだ。農場の支配と、これによつてかもしれた、農場内の人でもあり、カシヨエーラ耕地の直接責うるわしい雰囲気を感じるとともに、任者である隆之は、親中ずりの不屈の度その勇をねぎらつて、感謝状を贈り移住胸を發揮して、ラゴア、フェイアにいる弟利えとともに、復旧対策を練つた。兄弟は翌日雨の晴れあがるのを待つて、教

これら新移住者の導入とともに、さらこの年米国製大型トラクター一台、大台のトラクターを連らねて、インシンの型収穫機一台購入した。そして、カツボ高も高うかに、復旧作業を開始し、徹夜ン、ド、シツボ五〇アルケルの整地をて整地し、三日後には完全に三度目の晴取行して、事業は彼の構想する革新的な位を終了するといふ、驚異的な仕事を機械化農業の実現へ前進することになつてのけたのである。これは、隆之、利た、ところか、この年の蒔付時期に、は之兄弟の卓越した指導力と、つねに整備かうずも機械化農業に対する試練がやつされた機械によるものであることは言うて来た。蒔付期に入つてから、当地一帯までもない。

三三三、移民五十年祭を迎える

一九五八年は、日本移民がはじめて、笠戸丸という船で、ブラシルへ渡つてから五十年に当る年である。ブラシル在住の日本人は、この年を祝うために、日本移民渡伯五十年記念として、盛大に記念

花の御礼

去る七月十八日・十九日に挙行されましたバスト入植四十二周年祭の演芸会に出演いたしました。紙上で厚く御礼申し上げます。

バストス婦人会

石橋敏子	古田道助	早川君枝	小茂田呉服店	崎田金代	島本スマ子	藤井敏子	早川千代	松森キクノ	仏教婦人会	竹内郁子	小沢養鶏場	小沢養鶏場	田中ソデ	水野ジョーシ	守越	畑中シンユ	別府タマ子	岡野	橋本立雄	溪立	前山久子	前山つる子	谷口秋吉	杉山恭イ	橋元テ	上田幸音	細江静子	グランジャ酒井哲	農田	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
		中原ミテ	宮崎柳浦	パール柳浦	能見朝子	板垣朝子	川上サチ子	関口ウメ	キタシタ坂東	ササキ薬局	本多魚店	パール水口	ヤマカラ本	田川ヒト	古沢市次	篠崎正行	柴田高広	福森ユイ	池戸三郎	山根三郎	ホテル守佐美	新津夏好	園馨	小茂田春江	東編子	フオット島本	伊藤藤時子	板垣薬局	栖原清	
		様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

宮武様より録音テープを頂きました。

花の御礼

入植祭演芸会に出演致し、左記の方々から御花を頂き厚く御礼申し上げます

小沢将男	光石	樋田商店
前山商店	清家るみ	河井千鶴子
水本まる	川上佐智子	川上佐智子
戸田ついで	パール柳浦	山本栄子
河本千恵子	山本栄子	石橋とし子
豊島つえ	石橋とし子	森下菊子
太田みどり	伊藤妙子	小林小久
伊藤妙子	友谷千香	友谷千香
友谷千香	佐藤宏	佐藤宏
佐藤宏	フオート鳥本	フオート鳥本
フオート鳥本	光石	清
	光石	清

花の御礼

河合千鶴子	様	平田	様
河本千恵子	様	戸田ツイ子	様
梶田商店	様	友谷和枝	様
フオート宮崎	様	前山商店	様
小林小久	様	佐藤宏	様
加藤みよ子	様	清家るみ	様
山本栄子	様	砥谷	様

花の御礼

左記の方より御花頂きありがとうございました御礼申し上げます

小沢養鶏場	様	岡田せつ子	様
杉藤介	様	渡辺ヒサ	様
フオート島本	様	林久枝	様
吉田きみ江	様	清家るみ	様
本田たね子	様	加藤和代	様
フオート宮崎	様	若野	様
石橋敏子	様	杉	様
本多魚店	様	能見	様
桑原久治郎	様	寺岡	様
吉田多作	様	桑原	様
木口フミ	様	西田	様
廻田房子	様	栖原	様
伊藤妙子	様	西見	様
栖原信子	様	吉田	様
有馬佐保	様	檀床	様
西田悦子	様	武田	様
豊島	様	武田	様

花の御礼

七月十八・十九日のバストス入植四十二周年祭演芸会の節左記の方々からの御花 紙上を以て御礼申し上げます

演芸勸進元

御芳名	古	博	様
トミン	佐	田	様
聖市	農	田	様
聖市	小	田	様
バウル	吉	浦	様
モシダ	酒	井	様
水	本	彰	様
アラサツ	バ	教	様
聖市	佐	古	様
聖市	山	口	様
聖市	白	岩	様
聖市	古	田	様
水	野	シ	様
別	府	夕	様
小	沢	農	様
ギ	中	津	様
投	石	力	様
小	橋	博	様
福	永	茂	様
畑	中	し	様
聖市	田	地	様
聖市	細	江	様
山	川	頭	様
山	崎	準	様

バストヌ合唱団

音楽教師小野寺七郎先生の指導を受け、やつと形態が出来上がったばかりではあるが、バストヌ合唱団は一生懸命練習に打ち込んだので、どうやら水標道はいよつた感じであるが、一つ公開して臆を練ろうということになり、七月二十五日夜アダマンチーナで行なわれるパウリス夕線生長の家演芸会に出演した。バストヌの白鳩会は今年団体踊りも練習しないので、その代理出演ということうらしい。

過日聖市「あすなる楽園」バストヌ公演の際、バストヌ合唱団は、その前座を勤めさせてもらったが、あの頃から見ると、一段の進歩している。

尚、きくところによると、バストヌ合唱団は、九月二十七日、聖市文協会館で開かれる全伯合唱団コンクールに出場の準備とて張りきっている。

花の御礼

入植祭演芸会出演の際左の方々より御花を頂き、ありがとうございます。紙上で御礼申上げます。

島本文子

- 吉田 登様 橋元テイ様
- 栖原 清様 杉山恭吉様
- 前田 久子様 エタダ古川様
- 前山 商店様 新出様
- 清水 利助様 有馬佐保様
- 竹内 ナミ子様 杉フデノ様
- 若野 様 能見ヒデノ様
- 尾上 菊石様 守越かつ子様
- 河本 光子様 吉田トシ子様
- 竹内 郁子様 島本スマ子様
- 水野 かつ子様 友谷和子様
- 浜 妙子様 後藤かをり様
- 坂垣 悦子様 高橋リヨ子様
- 竹内 清子様 本田春子様
- 山根 三郎様 寺岡トモ様
- 郷原 美代子様 桑原芳子様
- 柴田 高美様

花の御礼

入植四十二回の祭典に私達の拙ない踊りに左記の方々から多大なる御花を頂きました。失礼ですが週報紙を借りまして御礼申上げます。

ブラ拓製糸女子青年
踊子一同

- 小沢 養鶏場様 板垣 菜局様
- グンゾ 酒井様 川上 佐智子様
- 小茂田 呉服店様 関口 米吉様
- 田中 聖様 パール 水口様
- フォット 島本様 新津 夏好様
- 平田 キヨ様 谷口 玦時様
- 裁縫学校 伊藤時子様 フォト 宮崎様
- サ、キ薬局様

訂正

七月二十二日本紙フェスタデオポの鶏卵二日の生産量三百箱とあるは三千箱の誤りに訂正します。一日三百箱なり、小沢、水本、西養鶏場なり二日でその位出すのに何という、そぞつかしい誤りをしたものだ。注意され頭をかいた次第である。

アマルゴーズ 22

Missa em Ação de Graças e 慰霊祭

慰霊祭に始まる行幸移民の日

七月十八日午前八時、イグレーツマサンフランシスコ、シマビエルで神龍の恩典ミサがあり、先ずこれが入植祭の皮切だ。パードレは時間が来ると、カンカインと鐘を打ち鳴らし、さっさとミサの式を始める。参拜者は女の生徒が少しかたまっているだけで、一般シダードンの影は至って少なく、日系の姿はまばらである。毎年お義理にも盛況とは云えない。参詣人の多寡というものが直ちに信仰の厚薄につながるかどうか別として、入植祭などという郷土的祭典には一般人には、どちらかというところ、あつてもなくともよいような行幸というところだろう。怪しからんことをいう。移民祭最大の善美は、先没者の慰霊にあるのだ……と

いう向うむきの高姿勢は御尤なれど、日本の村祭でも、社頭の賽銭箱の前で合掌するのが、せいっぱい。いそいそと余興の相撲や踊りの方へ行つてしまふ。そうとも考えず、寺の方では、寺院一ぱいの参詣人を迎えようとして、朝は時間がある。ひろからならよかろうと、午後三時に変更し、導師も選んでサンパウロから高僧を迎え待機してみたが、さっぱり人が寄らない。パンアツテの時間がずれたので文協の人や、その他おえら方が来ないのだろうと、時間をのばして待つてゐる。

三十分も前から坐席してゐる四五十人の参詣者は、ぼつぼつしびれを切らしはじめようという、最悪のコンディションである。大口総領事夫妻がおいでになるというので、寺の方は、もうそろそろ一ぱいになる頃と手ぐすね引いて待つてゐる。ところが、その総領事は、どこかのグランジマ、誘拐されておしまひになつたとわかつて、遂に開会に踏み切り、松原市長と小沢文協副会長の着席、読経、吊辞、焼香でどうやう式は終つたものの、義理にもすつきりした喉とはいえない。万全を尽して待つていながら、参詣者やその他が来てくれないのだから、文句の云様がない。

イグレーシマのように人が来ようが来まいが、時間通り始める方が、さつぱりしているし、見式があるというものである。一人でも多く来てもらおうと期待するお寺様の気持はわかるが、入植祭の半狂乱的な群衆と、それらの接待に追われて、てんてこ舞いをしてゐる市中や、里人たちにとつては、お寺さんの考えるように、時間の余裕はないのである。どっちがわるいのではない。時間と辻妻と、歯車が合わないだけの話である。これだけの事が二年三年と、年を重ねなければ判らなかつたのである。

◎慰霊祭、招魂祭というような行事は、要するにこれを主眼とした行事にしななければ、とても満足な結果は得られまい。……と思われぬ。

五、六年前のこと、ノ口線平野植民地で五十年祭に列席したことがあるが、お寺が会場であるが、そこで慰霊祭から表賞式、敬老会でも皆やってしまふので、一日中どこも坐り込んでしまふので、いやでもどの式にも出席する勘定になる。この方式なら慰霊祭は盛んにやれる。バストスでも細で拘うようにしてお寺へつれてくれれば、一網でお望一ぱいになる。……が、それでよいものであろうか。そこで一つの提案であるが、入植のフェスタの中に無理に行事として詰めこむよ

うな窮屈なことをせず、慰霊祭を独立した行事として執行することにしたい。たとえば、移民の日でもあり、バストス開植記念日でもある六月十八日に挙行するようになり、宣伝も充分にして、一家一人の参加をのぞむようにすれば、慰霊の目的も充分であらうし、参詣者の都合もよかろう。……これはすでに識者の間に交わされている案ときいてゐるが、これなら充分考慮の価値があると思われぬ。慰霊祭といふことであれば、仏教各派を問わず参加してくれるであらうし、多数を見越して式場は必ずしも寺とは限るまいし、広い所を選んでよい筈である。寺でなければいりやいと云うかどうか、又導師などは大僧正や大先生でなくても人格者なら、それでよいではないか。まがり角に来てゐる慰霊祭のあり方に二考を要するといふお祖志。

花の御礼

入植祭演芸会の節左の方々より過分の御花を頂戴致しました。紙上を以つて厚く御礼申上げます

バストス仏教婦人会

- 橋岡 吾美 様 上田 佐平 様
- 田川 シズ 様 田川 フミ子 様
- グランジマ 酒井 様 サキ葉 局 様
- 岡本 トモ代 様 大塚 様
- 豊島 様 フォト 宮崎 様
- 西川 統平 様 本多 魚店 様
- 守越 商店 様 フォト 島本 様
- 早川 花子 様 諸角 与吉 様
- 前山 商店 様 伊藤 妙子 様
- 松川 キクノ 様 宇都宮 千子 様
- 小林 いせ 様 島崎 みぎ江 様
- 細江 静子 様 新津 夏好 様
- 豊島 スエ 様 小林 小久 様
- 渡辺 千ト工 様 清家 重雄 様
- 古沢 市次 様 岩橋 様
- 小沢田 呉服店 様 水野 ショーシ 様
- 佐藤 重助 様 板垣 葉局 様
- 小沢 養鶏場 様 新谷 きよ子 様
- 中原 ミテ 様 橋元 てい 様
- 原野 小冬 様 柳浦 パール 様
- 山根 三郎 様 上田 ミチ 様
- 織田 しづ 様 森下 きみえ 様

私達入植祭演芸会に出場致しました。左の方々より多大なる御花を頂きました。厚く御礼申し上げます。

花の御礼

ウニオン男女青年団

炭谷一美様 栗田なを子様
前山商店様 溝越平八郎様
池田佐次郎様 本場茂盛様
中原みこ様 板垣榮局様
弘島様 志原鈴市様
星島様 豊島ふじ江様
小沢養鶏場様 橋岡行雄様
西川統平様 橋本保雄様
三鼓楽美平様 橋本巖様
生方正義様 大橋武三郎様
中原克巳様 小茂田呉服店様
岩橋原稔様 広瀬榮吉様
梶田馨様 金村三喜子様
園垣志馨様 宮崎写真館様
板垣パール志馨様 板垣梯市様
柳浦パール志馨様

花の御礼

入植祭演芸会に「柔道一代」を演じました。御花をいただき、ありがとうございます。ございました。

バストス柔道部

佐藤守男様 前山商店様
能見真市様 フォト島本様
上原真行様 板垣榮局様
西見政行様 竹内行政様
宮崎写真館様 水野譲二様
阿部新藏様 溝畑千マン様
古沢市次様 キタンダ阪東様
山根三郎様 小茂田呉服店様
清水利郎様 諸角与吉様
内馬場七郎様 杉藤介様
山口きよ子様 古谷米正様
伊藤妙子様 佐藤守男様
田越誠一様 吉野小冬様
守越誠一様 吉野小冬様
柴藤菊枝様 富吉勲様
米川悦生様 有馬重一様
池戸義一様 杉信子様
栖原義一様

入植祭演芸会の節当青年へ次の方々より多大な御花を戴きました。紙上より厚御礼申し上げます。

花の御礼

中浦芳幸様 栖原清様
溝畑多一郎様 堀原敏幸様
溝畑パールマン様 堀田商店様
今野銀次郎様 水本彰様
中浦成一様 面川クラーフ様
若野耕一様 信太マリア様
前山商店様 比良朝彦様
小沢養鶏場様 信太パウロ様
坂口吉一様 山本様
矢野武信様 小茂田呉服店様
千葉パウロ様 竹ノ葉局様
山根三郎様 板垣榮局様
増田夫人様 フォト島本様
寺田久治郎様 キタンダバストス様
柔原久治郎様 馬場俊衛様
パール水口様 宮崎写真館様
嵯峨パウロ様 溝畑兄弟様
郷原成一様 小沢養鶏場様
中浦成一様

花の御礼

入植祭演芸会の節御花をいただきありがとうございます。とうございしました。御芳名を記し御礼申し上げます。

川上ジャクリーネ

郷原ハル子様 フォト島本様
フォト宮崎様 織田しづ様
渡辺みちの子様 友谷和江様
関口加寿子様 石橋幸子様
大高米吉様 上杉さつき様
関口米吉様 金村みき子様
生井沢好江様 前山商店様
佐藤巖様 佐藤寛様
関口ウメ様

句会御案内

日時 八月二日夜七時 場所 前山南嶺居
兼題 凍蝶 外套 冬湯 焚火

八月十六日夜七時 俳句研究会

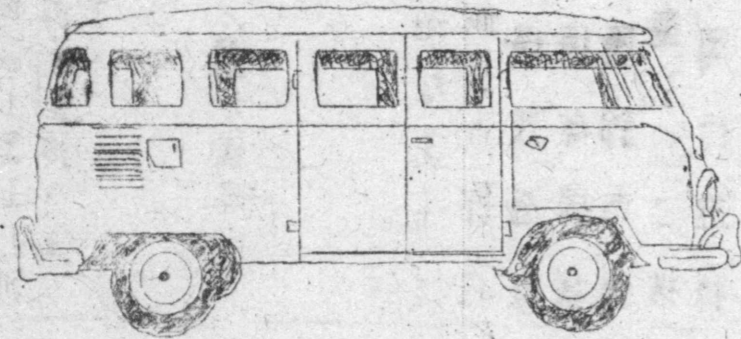
席題のみ 糸音 居にて

フエスタ デンショップに併参加下さい。カネコンをお買上げ下さい。ロククリークラブ

CRUZAUTO

Oswaldo Cruz Automóveis Ltda.

Conserto em oficina terão desconto de 20% -
sobre mão de obra Aquisições das peças terão
descontos de 10%.



クルサウト自動車有限公司

オスワルドクルース市 郵函 156.

修理は 20% の割引

ペッサは 10% の割引

世界の高級車ヴォクスワーゲン

中古車を引取り新車と交換

銀行融資販売のお世話致します

Aviso de Cine Bastos

立本 2

七月二十八日(火)二十九日(水)両夜とも八日 十才
東宝 彦彦 続何処へ 加山雄三 有島一郎 佐藤允
九重佑三子 小沢昭一 池内淳子
遂に出た青春映画の伏打! 加山雄三の魅力! いっは! 緑の学園に珍事続出!
東宝 彦彦 駅前温泉 森繁久弥 伴淳三郎 司葉子
フランキ界 淡島千景 柳屋金語郎
ごそんじシリーズ! 徹底した爆笑と、おもしろけの娯楽超大作!

七月三十一日(金)八時 八月一日(土)九時半
東映 琴の湖 佐久間良子 中村賀津雄
天然色 中村鷹治郎 他豪華配役

八月二日(日)九時半 二三日(月)八時
松竹 永 わかれ 舟木一夫 野々村潔 大空真弓
天然色 詠 緒形峯 中北千恵子 尾崎奈々
うなじのきれいな人だった。あの人に会えたかった。あがれの工官服はかない恋!

八月四日(火)五日(水)両夜とも八時
監督野村芳太郎 原作菊田一夫 超大作
松竹 ああ、あの橋の畔で 一部 柔野みゆき 左幸子 岩崎加根子
天然色 二部 園井啓介 千之赫子 高峰三枝子
思い出は生きていた! それで... 涙をさすろう! 葉子と光晴の恋の行方は!

八月七日(金)八時 八日(土)九時半 十八才
監督梅津明治郎 脚本森功 阿久 悠
松竹 霧にむせぶ夜 栗塚旭 黒木憲 中村晃子
天然色 坂野ゆき 内田良平 矢島美智子
涙がせろ! 聞かせる陰うせる! 夜霧の港町に男の激情が燃え上る! 黒木憲のヒット曲にのせるアクション!

八月九日九時半 十日(月)八時 十八才
大映 牝 めすいぬ 江波きょう子 赤座美代子 上野山功一
天然色 犬 高橋昌也 南原宏治 笠原玲子
ビキニの美女が水中に躍った瞬間! 触れたと見えぬ指先まで、華麗に見せる殺しの手ロ!